

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘 要
<p>【県土整備部】</p> <p>1 公共事業</p>	<p>117,059,690</p> <p>〔国庫 22,850,125 負担金 1,757,452 諸収入 3,027,509 県債 75,447,000 一財 13,977,604〕</p>	<p>117,630,706</p> <p>〔国庫 20,765,136 負担金 1,754,876 諸収入 2,624,350 県債 76,830,000 一財 15,656,344〕</p>	<p>117,630,706</p> <p>〔国庫 20,765,136 負担金 1,754,876 諸収入 2,624,350 県債 76,830,000 一財 15,656,344〕</p>	<p>公共事業全体 1,176億円(0.5%増)</p> <p>1 道路・街路事業 774億円(3.9%増)</p> <p>県施行事業 582億円(0.0%) 「時間が読める道づくり」「安心と活力の道づくり」の観点から、道路事業評価に基づき、高い整備効果・早期供用開始・直接県民生活に寄与する箇所に重点化</p> <p>直轄負担金 192億円(17.8%増) 〔うち圏央道整備に係る負担金 約130億円(約50%増)〕</p> <p>2 河川事業 402億円(5.5%減)</p> <p>県施行事業 233億円(7.1%減) 「災害に強い地域づくり」「自然や人にやさしい川づくり」の観点から、緊急度・必要性の高い箇所に重点化</p> <p>直轄負担金 169億円(3.1%減)</p>
<p>【審査の考え方】</p> <p>公共事業費総額を抑制する中で、県民ニーズの高い道路、街路事業に重点投資を図るとともに、河川事業についても投資効果・緊急度の高い箇所への重点化を図り、県民生活に直結した事業を推進させるため、要求額を措置した。</p>				

県土整備部

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
<p>新</p> <p>2 道路整備マスタープラン 策定費</p>		<p>3,000 〔一財 3,000〕</p>	<p>3,000 〔一財 3,000〕</p>	<p>道路網の将来像を示すマスタープラン(長期構想)と、その実現に向けた道路整備プログラムを策定</p> <ul style="list-style-type: none">道路整備マスタープランの策定に係る経費 300万円 <p>< 現行計画 ></p> <p>「広域道路整備基本計画」 計画中の広域道路から地域高規格道路を選定</p> <p>「道路の整備に関するプログラム」 平成10年度～平成19年度 国の道路整備5箇年計画に合わせ策定</p> <p>< 策定スケジュール(平成19年度まで) ></p> <ul style="list-style-type: none">平成18年度 道づくり懇談会の開催、基本方針・計画素案作成平成19年度 量的検証(センサスデータ)、県民コメント、 計画策定(議会報告)

【審査の考え方】

社会経済状況の変化を見据えた計画的な道路整備の実施と、事業に対する県民理解の向上に必要であるため、要求額を措置した。

県土整備部

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘 要
<p>新</p> <p>3 財団法人埼玉県河川公社 設備更新費貸付金</p>		<p>53,220 〔一財 53,220〕</p>	<p>53,220 〔一財 53,220〕</p>	<p>財団法人埼玉県河川公社に対する長期貸付金 5,322万円</p> <p>< 貸付の内容 ></p> <ul style="list-style-type: none">・ 貸付金額：5,322万円 老朽化した大場川マリーナの 上下架施設を更新する費用・ 貸付期間：平成18年度～28年度(10年間)・ 償還方法：5年据置、24年度～28年度で償還、 無利子 <p>< 会社の経営状況 ></p> <ul style="list-style-type: none">・ 単年度損益は平成15年度以降黒字となっており、 これにより平成21年度には債務超過から脱却 できる見込み・ 一方、単年度資金収支は、借入金返済負担により 赤字が続くが、平成24年度には、黒字転換する 見込み

【審査の考え方】

設備の更新により、不法係留船舶対策などを目的とした河川マリーナ事業の円滑な運営が図られることから、要求額を措置した。

県土整備部